



南の躍動

令和6年度 第1号

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進

大島教育事務所 令和6年6月17日



「奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育」の推進

大島教育事務所長 溜 清弘

令和6年度がスタートし、2か月が過ぎました。ある学校を訪問したときに、教師の精選された発問や指示に対して、子供自身が「見通し」をもち、言葉や図、表などの表現方法を選び、自ら問題解決を図ろうとする姿や教師が子供の「深い学び」のために支援に徹している姿が見られ、各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善への取組が進んでいることを実感しました。

さて、昨年度を振り返ってみると、奄美群島日本復帰70周年の記念の年として、奄美の先人たちの行動と勇気の歴史を風化させないように、工夫ある教育活動が各学校で展開されました。大島地区は、有為な人材を数多く輩出し、「人材の島」、「教育の島」と謳われています。先人たちが、かつてどのような思いで群島民一体となって、文化や伝統を築き上げてきたかということ、子供たちも、私たち教師も学び、今後の生き方につなげていくことが、先人たちの願いをつないでいくことになるのだと思います。

また、大島地区にはずっと昔から絆を大切に「結いの心」という精神が伝えられています。連帯と共生の息づく風土に育まれた「奄美のよさ」を生かして、この大島地区だからこそできる教育を展開していくことが必要です。

今回の人事異動で、大島地区では315人の教職員の人事異動がありました。各学校ではこれまでの伝統や実績に、新たな風や刺激が加わることで、より充実した「奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育」が推進されるものと思います。一人一人の教職員が自分なりのよさや可能性を精一杯発揮し、これまで以上に子供たちや保護者、地域の方々から信頼される「魅力ある学校」になることを期待しています。

教育事務所は6人の職員が転入し、新たな態勢でスタートしました。各市町村教育委員会や学校、社会教育、社会体育等の関係団体から「頼りにされる教育事務所」を目指して努力していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

服務規律の厳正確保（交通事故の未然防止のために）

一時停止が必要な交差点で、停止線前に車両を確実に止める。ほんの数秒のこの動作によって、あなたはあなた自身と停止線の向こう側の誰かの安全を確保し、周囲の状況を落ち着いて確認することができる。この数秒を惜しむことで生じるリスクへの想像力を働かせたい。「もしも停止線を越えたところで、人や車が横切ってきたらどうなるか。」、「もしも斜め後方のバイクに気付かず左折したらどうなるか。」

本年度になってから、確認不足や不注意が主たる要因と思われる交通違反や事故が発生しています。交通法規は、自分や周囲の人々の命と生活を守るものです。ハンドルを握る時は重い責任を背負っていることを意識しながら、安全運転に努めたいものです。

ICT教育の充実

地区内では、令和5年度の諸調査結果から、授業での効果的なICT活用が、県と比較して進んでいる現状があります。今後もICT機器の授業での活用(週3回以上)100%を目標にした各学校での取組を期待しています。



学校訪問を通して

5月から、令和6年度の学校訪問を実施しています。特に、印象的なのが、校内が整然としており、教育環境が整えられている点です。また、授業で様々な教師の工夫がされており、子供たちが熱心に学びに向かう姿が見られています。



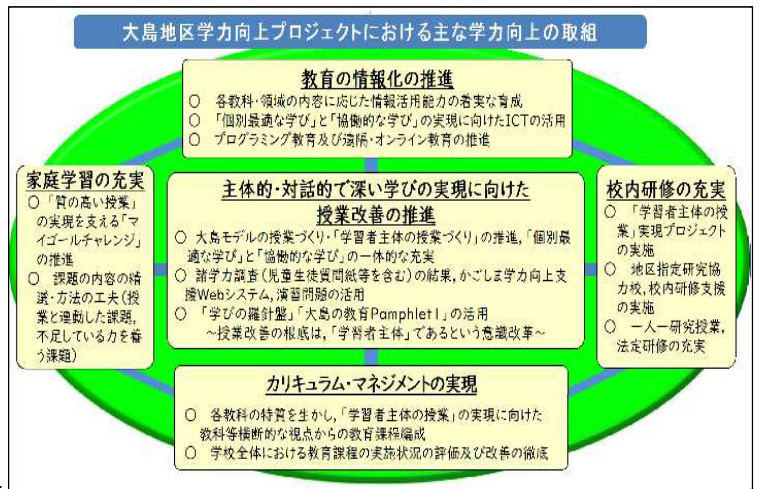
大島地区教育推進プラン

令和6年度の目標を「奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進～人権教育を全ての教育の根幹に～」とし、「到達数値目標」や「学力向上プロジェクト」を設定しました。

各学校では、大島地区にある豊かな自然や文化など魅力ある学習材を生かしながら、「『確かな学力』の定着」「豊かな心と健やかな体」「開かれた信頼される学校づくり」の目標達成のために、共通実践事項を掲げ、各学校の実態に応じた教育活動が行われています。

特に、「『確かな学力』の定着」においては、その取組が更に推進できるように、上図のように「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」、「校内研修の充実」、「家庭学習の充実」、「カリキュラム・マネジメントの実現」、「教育の情報化の推進」の5つの柱を掲げました。

この5つの柱を有機的に結び付けながら、「大島モデル」の授業充実の3ポイント（「目標の明確化」、「山場の工夫」、「確かめ・見届け」）を踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」を展開して、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成に取り組んでいきましょう。



積極的な生徒指導の充実をめざして

令和6年度がスタートし、2か月が経過しました。各小中学校における児童生徒の様子はいかがでしょうか。各学校においては、児童生徒が登校したくなる「魅力ある学校づくり」が推進されるものと期待しています。

令和4年度は、全国で299,048人と不登校児童生徒が過去最多になっています（問題行動等調査より）。本地区においても増加傾向にあり、喫緊の課題となっている。不登校以外の病気、その他の要因を含めた長期欠席も増加傾向であり、その対策も急務であると考えています。

本年度、本地区では下記を重点項目として考えています。

- 児童生徒が登校したくなるような魅力ある学校づくりの推進
- 積極的ないじめの認知による事例の早期発見及び早期解消
- 新規の不登校児童生徒を出さない手立て
- 全児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の充実
- チーム学校として組織力を機能化させるための日常的な関係機関との連携強化

本年度、スクールカウンセラー（SC）の派遣回数が大幅に増加しました（R5年度比 平均約2.5倍）。上記課題の解決のためにも、チーム学校の一員としてSCを効果的に活用してください。

- 〔活用例〕
- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1 児童生徒のカウンセリング | 2 保護者へのカウンセリング・助言・支援 |
| 3 教職員への助言・支援 | 4 ケース会議・生徒指導部会等への出席 |
| 5 校内研修・家庭教育学級等での講話 | 6 アンケート等のスクリーニング |
| 7 SOSの出し方に関する教育での講演 | 8 SOSの受け止め方に関する（ゲートキーパー）研修 等 |

喜界の文化財等 ～喜界島の隆起サンゴ礁上植物群落～

「喜界島の隆起サンゴ礁上植物群落」は平成26年に国の天然記念物に指定され、今年で10年を迎えます。島の南西部にある指定地域は、隆起サンゴ礁上の多様な植生が海岸線から内陸の森林地帯まで連続して良好に残っている琉球諸島の中でも希少な場所です。遊歩道が整備され、植生以外にも喜界島の隆起の速さを物語る段丘や隆起サンゴ礁に埋没した石器など、島の特異な地形や歴史に触れることができます。また、奄美大島に沈むアヤティダ（夕日）は絶景で、冬季にはホエールウォッチングを楽しむことができます。

この島ならではの風景を体感できるお勧めスポットです！



【展望台からの眺望】
喜界町教育委員会生涯学習課からの写真提供

【タイトル横の写真】奄美大島・徳之島に生息する絶滅危惧種「アマミハナサキガエル」（奄美市教育委員会提供）